感染症情報　4月24日～5月7日

4月24日～30日 ― 府下小児科195医療機関（堺市19）から

①感染性胃腸炎	1，099例（堺市	120例）
②RSウイルス感染症	606例（堺市	45例）
③溶連菌感染症	238例（堺市	14例）
④咽頭結膜熱	80例（堺市	10例）
⑤突発性発疹	73例（堺市	9例）
インフルエンザ	244例（堺市	9例）

5月1日～5月7日 ― 府下小児科194医療機関（堺市19）から

①感染性胃腸炎	748例（堺市	61例）
②RSウイルス感染症	603例（堺市	37例）
③溶連菌感染症	153例（堺市	10例）
④咽頭結膜熱	63例（堺市	5例）
⑤ヘルパンギーナ	36例（堺市	6例）
インフルエンザ	155例（堺市	10例）

4月24日から30日の週に2，188件、5月1日から7日の週に1，709件の報告数であった。RSウイルス感染症の定点当たりは大阪府で両週とも3．11、堺市は2．37と1．95であった。

指定感染症：

【大阪府の推移】（患者報告数：大阪府感染症情報センター、陽性率：大阪府）

報告数	4/17～4/23	＋4，822例、累計2，839，962例に、
	4/24～4/30	**＋5，219例**、累計2，845，181例に、
	5/1～5/7	**＋5，445例**、累計2，850，626例になっていた。
陽性率	4/19～4/25	78，814検査中、4，245件陽性、陽性率 5．4%、
	4/26～5/2	88，041検査中、4，878件陽性、陽性率 5．5%、
	5/3～5/8	38，360検査中、3，418件陽性、陽性率 8．9%

（12月21日に遡り、大阪府発表の陽性者数から自己検査陽性・登録者数を引き、陽性率＝医療機関での陽性者数/医療機関での検査数（同一人物に抗原検査とPCR検査の重複はありうる）に変更した）

【堺市の推移】（9月12日の週から堺市発表の陽性者数を使い、これまでの累計数を計算している）

陽性者数	4/17～4/23	＋440例、累計は231，468例であった。
	4/24～4/30	**＋509例**、累計は231，977例であった。
	5/1～5/7	＋472例、累計は232，449例であった。
陽性率	4/20～4/26	6，847検査中、455件陽性、陽性率　6．7%、
	4/27～5/3	6，286検査中、**588件**陽性、陽性率　9．4%、
	5/4～5/7	1，440検査中、211件陽性、陽性率**14．7%**

麻疹や風疹の報告はなかった。